

2025年3月期第2四半期（中間期）
（2024年4月1日～2024年9月30日）

決算参考資料

2024年11月13日



東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 店舗展開の状況	-6-
3. 2025年3月期第2四半期（中間期）業績概況	-8-
4. 財政・キャッシュフローの概況	-11-
5. 第2四半期（中間期）のトピックス	-12-
6. 2025年3月期について	-17-

連結対象企業の事業内容

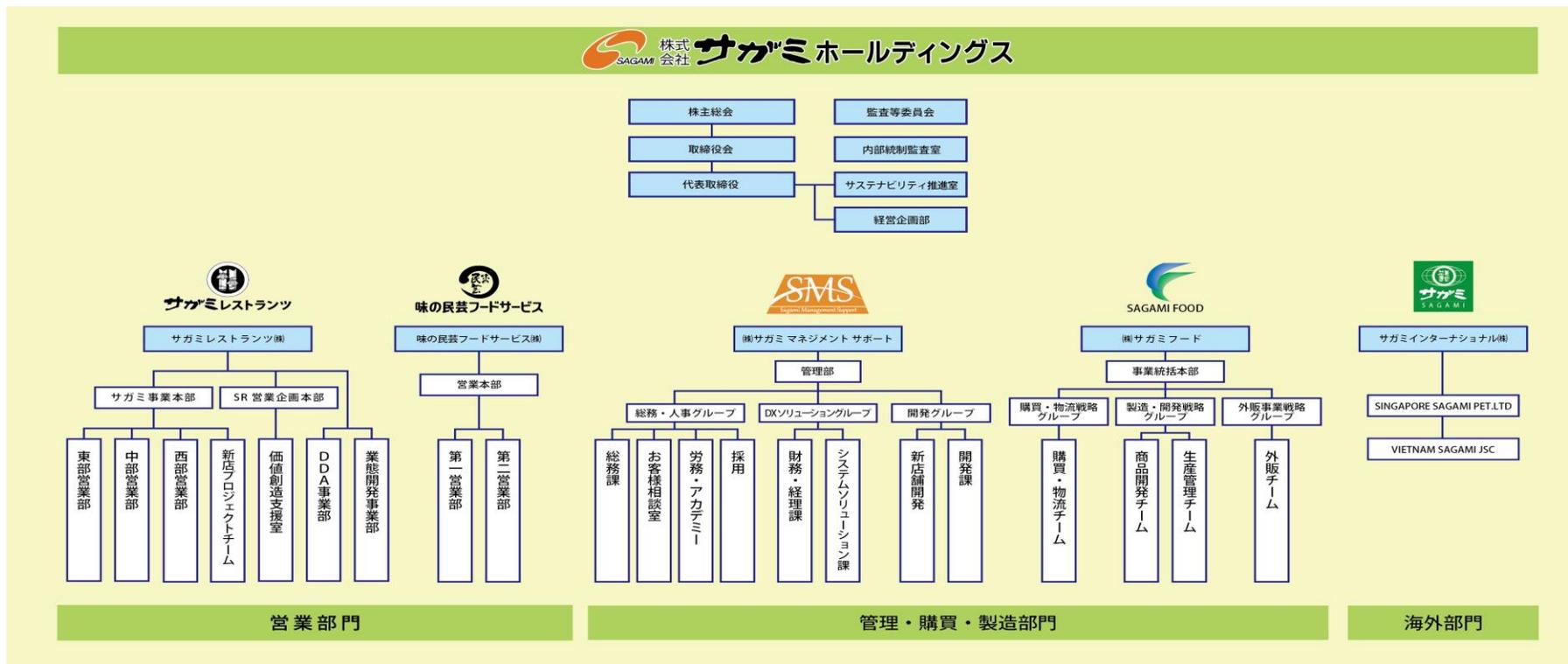


連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	10,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,750,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	飲食店の経営

連結対象企業の事業内容

サガミグループ組織図

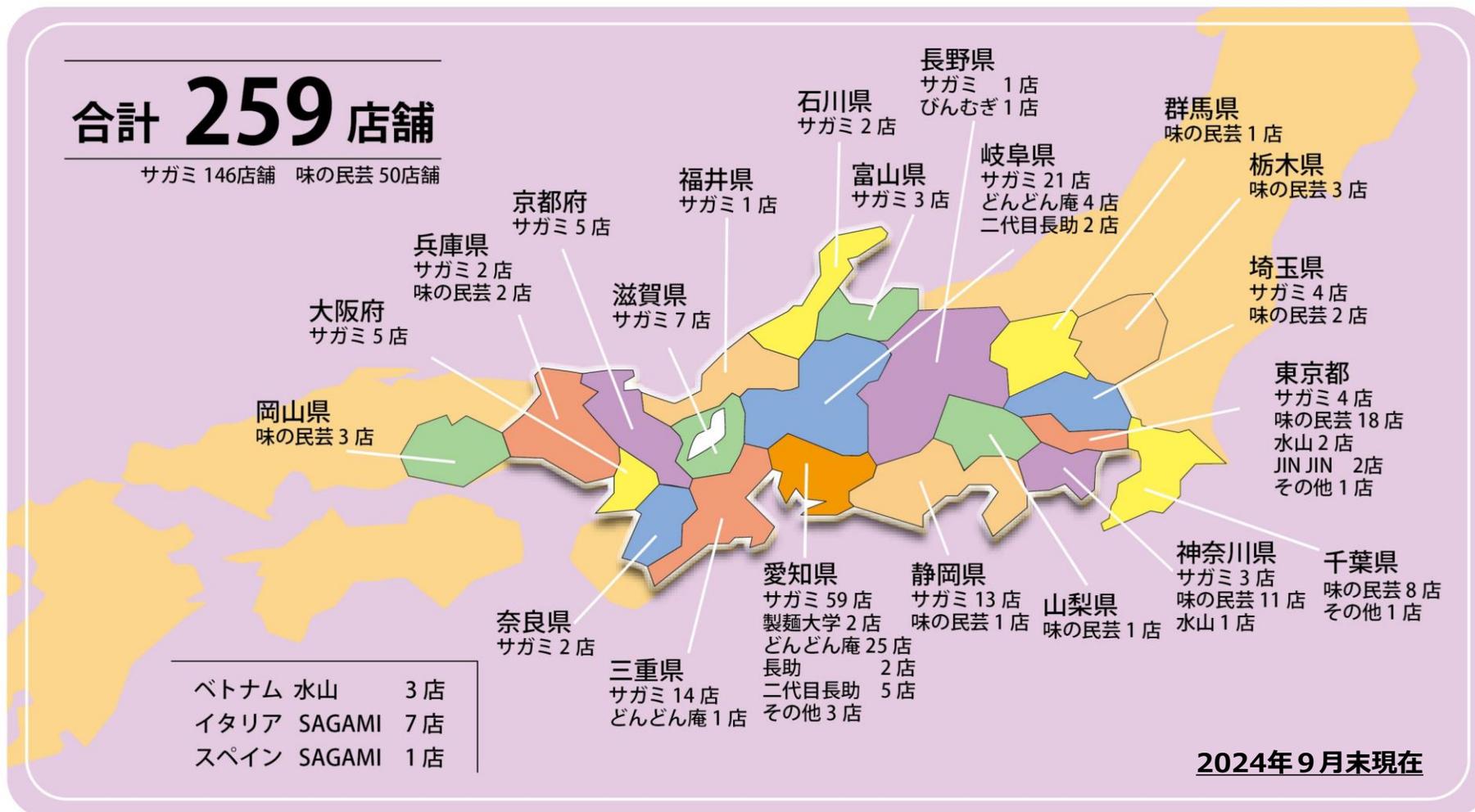


- ◆ サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、長助業態、二代目長助業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミ管理サポートは、主に管理業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主に食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、ASEAN地域での事業（ベトナム）の統轄を行っております。

連結対象企業の事業内容



地域別店舗分布



店舗展開の状況

	2024年 3月期	2025年3月期（計画）			2025年3月期 第2四半期（中間期）		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	139	9	-	148	7	-	146
味の民芸（FC店舗含む）	50	1	-	51	-	-	50
どんどん庵（FC店舗含む）	31	3	-	34	-	1	30
長助・二代目長助	8	4	-	12	2	1	9
その他国内店舗（FC店舗含む）	19	-	8	11	-	6	13
海外 ベトナム	3	-	-	3	-	-	3
海外 イタリア（FC店舗）	6	1	-	7	1	-	7
海外 スペイン（FC店舗）	-	-	-	-	1	-	1
合計	256	18	8	266	11	8	259

◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

店舗展開の状況

国内店舗展開

- ◆ 和食麵処サガミ業態
2024年4月「東浦店」、「岡崎大樹寺店」、5月「豊田錦店」、6月「港知多店」「川越店」、7月「天道店」、8月「焼津西小川店」を開店いたしました。
これにより、当第2四半期（中間期）末の店舗数は146店舗となりました。
- ◆ どんどん庵業態
2024年7月「春日井白山店」を閉店いたしました。
これにより、当第2四半期（中間期）末の店舗数は30店舗となりました。
- ◆ 長助・二代目長助業態
2024年6月「十割そば二代目長助 岐阜北方店」、9月「十割そば二代目長助 岡崎美合店」を開店いたしました。
また、業態変更に伴い、2024年9月「十割そば二代目長助 野田店」を閉店いたしました。
これにより、当第2四半期（中間期）末の店舗数は9店舗となりました。
- ◆ その他業態
業態変更に伴い、2024年4月に「あいそ家 東浦店」「あいそ家 大樹寺店」、「あいそ家 豊田店」、5月「あいそ家 港知多店」、「あいそ家 川越店」、「あいそ家 天道店」を閉店いたしました。

海外店舗展開

- ◆ イタリア
2024年4月「SAGAMI Bologna Porta Lame店」をFCで開店いたしました。
- ◆ スペイン
2024年8月「SAGAMI Madrid Chueca店」をFCで開店いたしました。

以上により、当第2四半期（中間期）末のグループ店舗数は、国内248店舗、海外11店舗の計259店舗であります。

◆和食麵処サガミ港知多店



◆SAGAMI Madrid Chueca店



2025年3月期第2四半期（中間期）業績概況



連結ベースの経営成績

(単位：百万円/円)

	2024年3月期 第2四半期（中間期）	当初計画 第2四半期（中間期） (2024.5.13発表)	2025年3月期 第2四半期（中間期）	前年差異	計画差異
売上高	15,027	16,000	17,164	2,137(+14%)	1,164(+14%)
営業利益	930	980	1,282	352(+37%)	302(+30%)
経常利益	970	1,000	1,308	338(+34%)	308(+30%)
当期純利益	734	740	989	255(+34%)	249(+33%)
一株あたり 当期純利益	24.36	24.51	32.79	8.43(+34%)	8.28(+33%)

2025年3月期第2四半期（中間期）業績概況



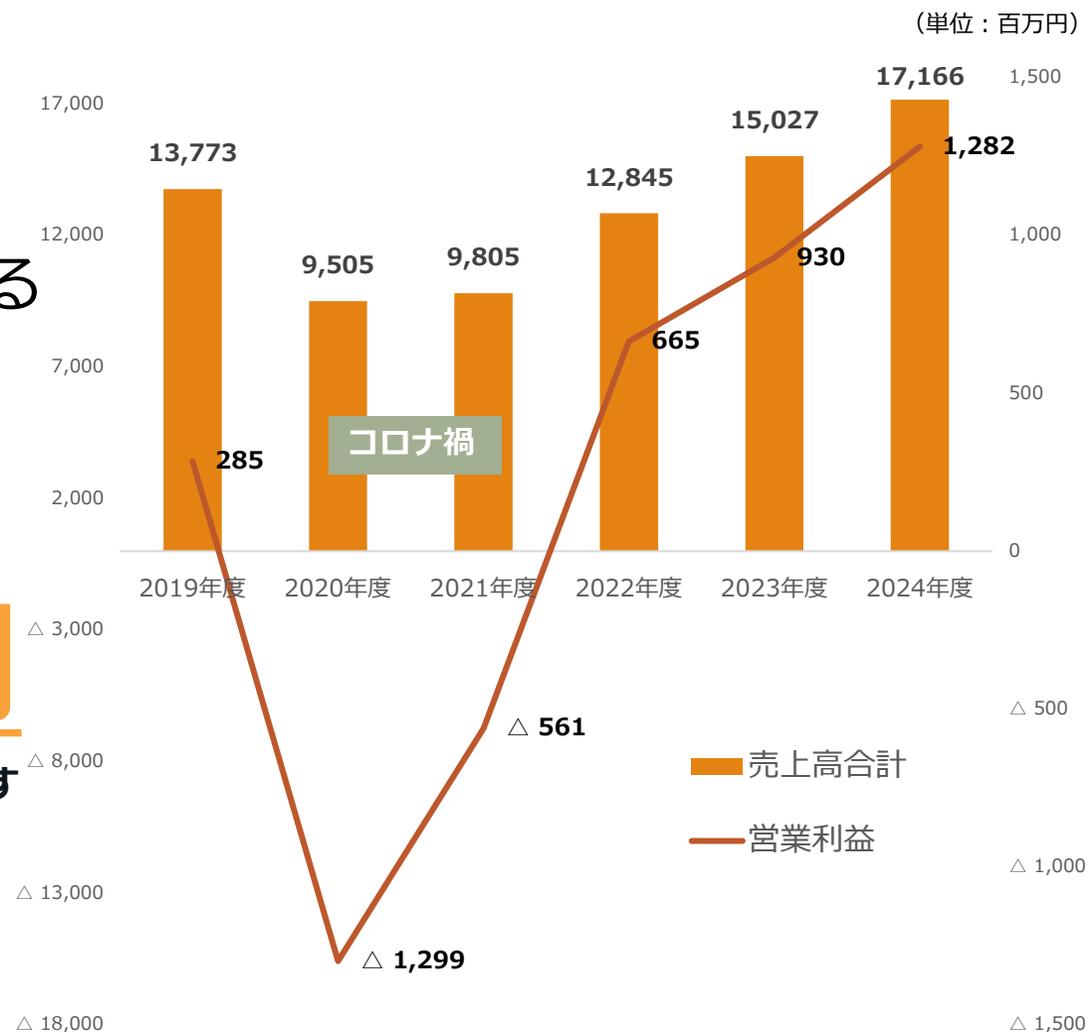
売上高と営業利益率の推移（中間期）

2000年度以降、中間期決算では最高となる

売上高171億円と

営業利益12億円

※2012年度より決算期が変更となっております



客数の推移（中間期）

増収増益の主な要因は **客数増**

客数2019年度対比※ **117.1%**

※主力和食業態既存店数値

	コロナ前		コロナ影響下			コロナ後		
客数前年対比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度/ 2019年度対比	
主力和食業態	101.2%	66.9%	102.3%	129.4%	112.0%	112.0%	<u>117.1%</u>	

財政・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円/%)	2024年3月期	2025年3月期 第2四半期 (中間期)
総資産	24,943	24,595
純資産	16,815	17,451
自己資本比率	67.4	70.9

連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2024年3月期 第2四半期 (中間期)	2025年3月期 第2四半期 (中間期)
営業活動によるキャッシュフロー	1,011	614
投資活動によるキャッシュフロー	△700	△1,133
財務活動によるキャッシュフロー	△734	△729

- ◆ 設備投資について
連結設備投資は1,101百万円（2024年3月期第2四半期（中間期）実績730百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は322百万円（2024年3月期第2四半期（中間期）実績216百万円）となりました。

第2四半期（中間期）のトピックス①



サガミホールディングス

◆ ESG経営の推進

「より良き社会、より良きサガミを次世代に」をテーマとして、TCFDに基づく定量情報や環境配慮への取り組み等、サステナビリティにかかわる取り組み及び情報について積極的に開示し、社会と事業の持続的成長を実現してまいります。積極的に情報開示を行う目的として、CDP気候変動質問書への回答を実施いたしました。（評価B- ※外食企業平均：C-）また、当社グループの企業活動の全体像、企業価値創造に向けた戦略や目標を総合的に紹介し、理解をより一層深めていただくことを目的として、8月に統合報告書を発行いたしました。

◆ ゆたかさを感じられる職場づくり

従業員の働く環境改善の一環として、5月1日、8月16日に主力業態である「和食麺処サガミ」「味の民芸」を始めとしたグループ全店を、一斉休業いたしました。尚、2025年1月7日、8日にも同様の休業を予定しております。また、多様な人材の確保及び従業員の生活水準の向上を目的として、基本給のベースアップ、初任給の引き上げとともに業績貢献に対する特別賞与の支給を行いました。引き続き、当社最大の経営資源である人材への投資を継続し、お客様への提供価値向上に向けて取り組んでまいります。

◆ 株主還元

今後の更なる企業価値向上、及び当社グループの持続的な発展への決意を示すとともに、日頃のご支援に対し感謝の意を表する為、1株当たり年間配当を10円といたしました。（普通配当:8円 特別配当:2円）



第2四半期（中間期）のトピックス②



サガミレストランツ（サガミ事業本部）

サガミ業態について

- ◆ 季節の料理でおいしさ提供
期間中、「真あなご料理フェア」「本まぐろ料理フェア」「牛タン料理フェア」「北海道と北のめぐみ料理フェア」の計4回の料理フェアを開催いたしました。お客様にご好評いただいている季節に合わせた料理フェアを、今後も定期的を開催し、サガミのおいしさを皆様へ届けて参ります。
- ◆ 特別な日（ハレの日）のおもてなし実施
「お食い初め（百日祝い）」、「一升米（一歳お祝いセット）」に続いて、「長寿のお祝い御膳」を一部店舗で販売開始いたしました。還暦・古稀・喜寿のような長寿のお祝いや、人生の節目となるイベントでの会食の機会に、和食麺処サガミでのお食事とおもてなしを楽しんでいただける食事プランをご提案しております。ご家族揃ってのご来店を心よりお待ちしております。
- ◆ 地域とのコラボレーション
8月28日～9月末まで、名古屋市内の19店舗で、飛騨特産食材を使用した期間限定の特別メニュー「飛騨の恵み DE なごやめしフェア」を開催いたしました。それぞれの恵み・出逢い・想いとともにより地域の素材×地域の食文化を掛け合わせ、サガミに取り入れることで、今後も地域活性化につなげて参ります。
- ◆ 営業時間の改定
一部店舗において、営業時間を改定し、お客様のニーズにお応えすることで、ゆっくりとお過ごしできる店舗環境を構築いたしました。



第2四半期（中間期）のトピックス③

サガミレストランツ（業態開発事業本部）

長助業態について

- ◆ セルフサービス形態を取り入れることによって、おいしい十割そばをリーズナブルな価格設定で実現しつつ、十割そば特有のそばの香りやのど越しを楽しんでいただくことで、お客様からご好評いただいております。品質の管理が難しいとされる十割そばですが、日々改良を加え、よりおいしくお召し上がりいただける十割そばを追求し続けて参ります。
- ◆ 認知度向上の目的とともに、美味しさの訴求及び新店舗紹介等を告知する、テレビCMを放映いたしました。（6月、8月、9月）
- ◆ 十割そば二代目長助では、販売促進企画として、「新生活応援企画」（4月）、「新メニュー紹介企画」（6月）、「大暑の大感謝祭」（7月）、「お客様感謝企画」（9月）を実施いたしました。

どんどん庵業態について

- ◆ 「自分好みを手軽に美味しく」をモットーに、うどん・そば・きしめんなどの各種麺類を取り揃えております。自社製麺の強みを活かし、高品質な商品をコストを抑えて提供することができ、多くのお客様にご好評をいただいております。
- ◆ お客様の生活応援企画として、4月に「GO!どんどん庵キャンペーン」を実施いたしました。また、期間限定メニューを月替わりで販売しております。



第2四半期（中間期）のトピックス④

味の民芸フードサービス

味の民芸業態について

- ◆ 期間中、「真あなご料理フェア」「本まぐろ料理フェア」「北海道と北のめぐみ料理フェア」の計3回の料理フェアを開催いたしました。お客様にご好評いただいている、季節に合わせた料理フェアを、今後も定期的で開催し、味の民芸のおいしさを皆様へ届けて参ります。
- ◆ おいしい手延べうどんをより堪能して、お召し上がりいただけるお客様感謝企画として「手延べうどん食べ放題」を開催いたしました。7月には「夏の感謝祭、夏のご馳走フェア」を開催いたしました。夏のご馳走メニューのPRやアルコール商品の値引きにてお客様訴求を実施いたしました。春の土用の丑、夏の土用の丑、父の日には「うなぎメニュー」をPRし、国産うなぎのおいしさを訴求いたしました。また、「ロカボメニュー」を販売し、適正糖質でおいしく楽しいお食事の場を提供しております。
- ◆ インバウンド顧客の増加に伴う対策として、メニューの英語表記対応をいたしました。また、EPARK待合システム導入店舗を拡充し、お客様の店舗利用の利便性向上を図りました。

小型業態について

- ◆ 「ぶぶか吉祥寺北口店」と「JINJIN新宿二丁目店」では、クレジットカード、QR決済、及び外国語に対応するなど、お客様の利便性向上を目的として、使用方法の多様化対応をいたしました。



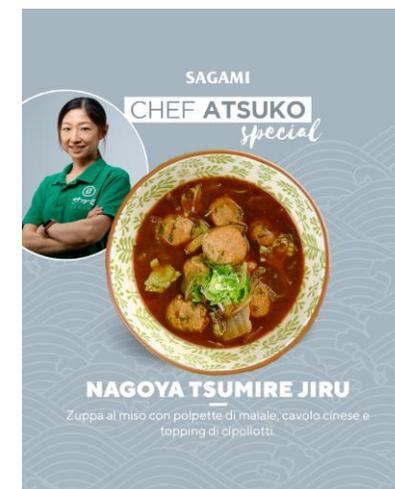
第2四半期（中間期）のトピックス⑤



サガミインターナショナル

欧州事業について

- ◆ 2024年4月に、イタリア・ボローニャ市に「SAGAMI Bologna Porta Lame店」を出店いたしました。また、8月には、スペイン・マドリード市に「SAGAMI Madrid Chueca店」を出店いたしました。イタリアに次ぎ、欧州で2カ国目の展開となります。地域の方々から観光のお客様まで、幅広いお客様にご来店いただいております。
- ◆ メニューのローカライズを目的として現地スタッフの意見を積極的に取り入れ、スタッフ考案のレシピをメニュー化するなど、既存の枠にとらわれない施策で、お客様より、好評を得ております。引き続き、和食文化をイタリアのお客様へ届けられるよう、取り組みを継続してまいります。
- ◆ イタリア・スペインへ出店する店舗については全店、現地パートナー企業による、フランチャイズでの展開となっており、今後もイタリア地域を中心に出店を検討してまいります。



ベトナム事業について

- ◆ ベトナムでは「水山」業態を3店舗展開しております。
- ◆ 出店立地の顧客特性に合わせ、現地在住日本人向けの「とんかつ」やローカル向けの「鍋」など、店舗ごとに異なるメニューを用意し、幅広い所得層のお客様にご利用いただいております。



2025年3月期について

連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2024年3月期	当初計画 2025年3月期	計画（11.5公表） 2025年3月期
売上高	31,006	32,000	34,000
営業利益	1,656	1,750	2,050
経常利益	1,722	1,800	2,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	909	1,000	1,350

2025年3月期について

- ◆ 売上高
2024年3月期においては、各種催事の復活や外出機会の増加による国内消費の伸長などから、人流は大きく増加いたしました。これを受け、2025年3月期下半期（2024年10月～2025年3月）における客数は、前年同等を見込んでおります。なお、新規出店や商品政策によるプラス効果を考慮し、2025年3月期の売上高について、前期比増収を見込んでおります。
- ◆ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益
食材の仕入れ価格や人件費、水光熱費、物流費などのコスト増により厳しい経営環境が続くことが予測されますが、粗利益率の改善及び生産性の向上により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、前期比増益を見込んでおります。

ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（1）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（2）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（3）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（4）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一カ月間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（5）ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。